

時代とハートを動かす

SEIKO

コーポレートレポート 2016-2017

SEIKO

セイコーウオッチ株式会社
セイコーインスツル株式会社
セイコープレジジョン株式会社
セイコーNPC株式会社
セイコーソリューションズ株式会社
セイコークロック株式会社
株式会社 和光
セイコータイムシステム株式会社
セイコーオプティカルプロダクツ株式会社
セイコーホールディングス株式会社

[発行元およびお問い合わせ先]

セイコーホールディングス(株) 企業文化部
〒104-8110 東京都中央区銀座1丁目26-1
Tel: 03-3563-2111(代表)
<http://www.seiko.co.jp/>
E-mail: prdeptj@seiko.co.jp

[発行] 2016年9月



この印刷物は責任ある管理された森林からの木材を含むFSC®認証紙を使用しております。

セイコーホールディングス株式会社

Top Message

グループCEO・社長メッセージ

世界中の方々と感動を分かち合える グローバルな企業グループへ

「常に時代の一步先を行く」この創業の経営姿勢が、セイコーの革新と躍進を支えてきました。2014年、この先取の精神に加え、すべてのステークホルダーの皆さまと、希望に満ちた新たな時代を「ワクワク感・ドキドキ感」を持って共に創り、共に楽しみ、共に響きあいながら歩いていきたいとの願いをこめ、グループスローガン「時代とハートを動かすSEIKO」を掲げました。そして創業135年にあたる今年2016年には、スローガンの精神を具現化すべく、10年後の将来に向け目指す姿を長期ビジョンとして制定しました。これからも時代をリードする先進性と革新性を備えながら、時に寄り添い、心に刻まれる製品と品質・サービスを提供し、世界中の方々と感動を分かち合える、グローバルな企業グループを目指してまいります。

セイコーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼グループCEO

服部 真二

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指して

長期ビジョンの実現に向けて、2020年までにグローバル市場のリーディングカンパニーとなることを目指し、第6次中期経営計画がスタートしました。事業戦略では、ウオッチ事業を中核とする高収益グループを目指し、「収益力の強化と成長への投資」を推進してまいります。また、「経営基盤の強化」を徹底し、特に、コーポレートガバナンス体制においては、さらなる強化を図るため、独立社外取締役を中心とした諮問委員会の設置、取締役会の実効性評価の仕組みなどを導入いたしました。さらに、自己資本の充実と有利子負債の削減を進めるとともに、グローバル人材育成や女性活躍推進などにも力を入れてまいります。こうした取り組みによって、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

セイコーホールディングス株式会社
代表取締役社長

中村 吉伸



代表取締役会長兼グループCEO
服部 真二

代表取締役社長
中村 吉伸

Contents

Top Message	グループCEO・社長メッセージ	1
Photo Story	フォトストーリー	3
Our Profile	セイコーホールディングスグループの概要	7
Our Value	世の中にないものを生み出す セイコーの価値創造	9
Our Vision	第6次中期経営計画	11
Our Business	事業紹介	15
Our Sustainability	セイコーホールディングスグループのCSR	21

世界時計「Seiko Space Eye」

2016年5月、東京・銀座のセイコー新社屋に大型世界時計「Seiko Space Eye」が設置されました。高精細の円形LEDスクリーンを直径3.9mの金属の輪が囲み、その中で、宇宙に浮かぶ地球がゆったりと自転して、世界の全40タイムゾーンを含む77か所の時刻を表示します。

毎正時には、「報時デモンストレーション」を行うほか、セイコーのCMやビデオも上映します。





スポーツには、世界を興奮と感動で満たす力があります。セイコーはこのスポーツの力を信じ、「時代とハートを動かすSEIKO」のスローガンのもと、IAAF世界陸上や東京マラソンなどさまざまなスポーツ大会を計時・協賛し、スポーツ選手の活動をサポートしています。2015年にセイコーの社員となった山縣亮太選手も、陸上男子100mで夢の9秒台に挑み続け、スポーツを通して、ワクワク、ドキドキを届けています。

スポーツを通して ワクワク、ドキドキを届ける



CD

SEIKO

時代とハートを動かす山縣

作詞 セイコー社員
作曲 服部真二

レース後の山縣選手を囲む社員たち

セイコーイメージソングの山縣選手応援バージョン
<http://www.seiko.co.jp/branding/athlete/yamagata.html>



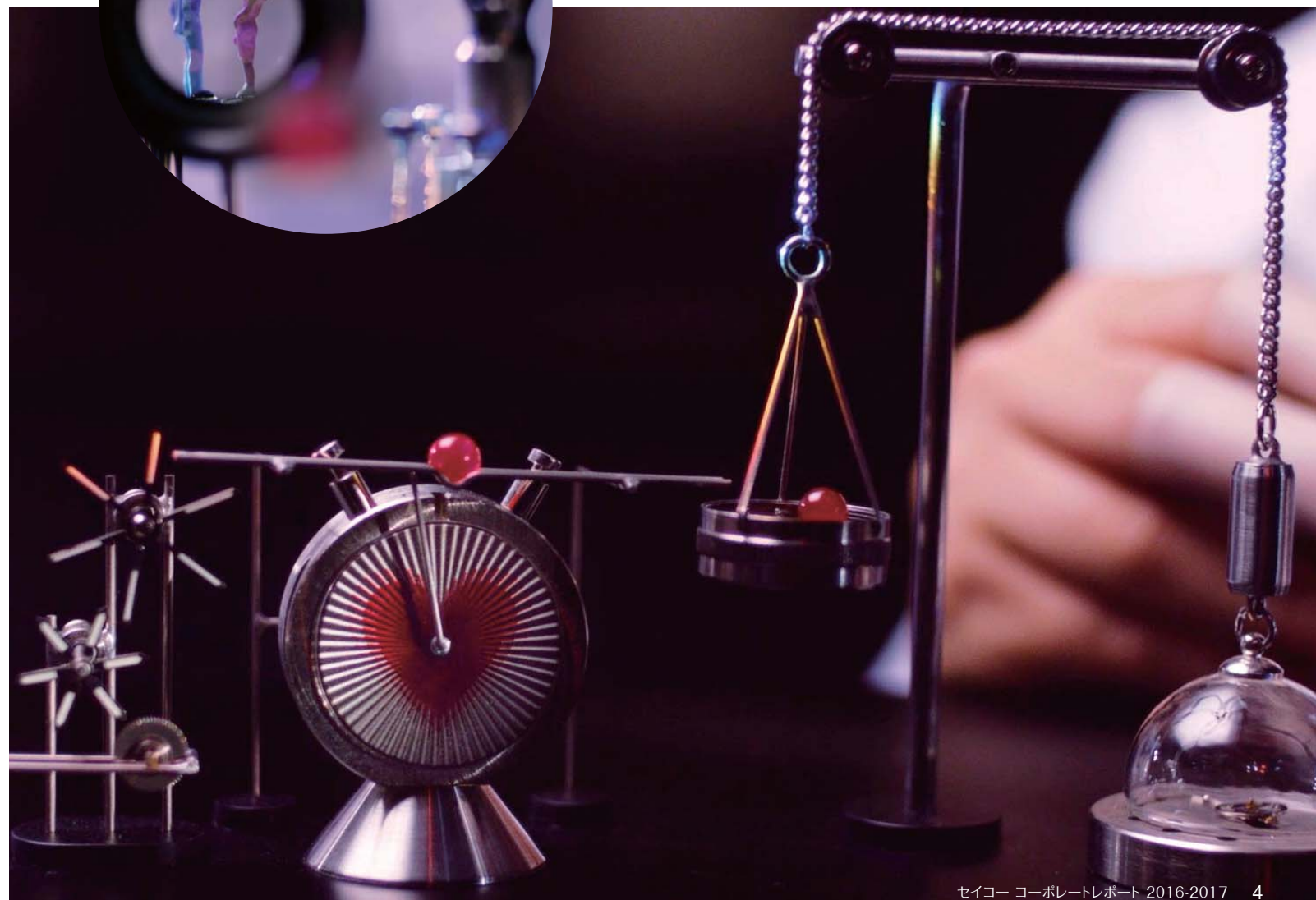
セイコーが提供する音楽番組「Sound Inn "S"」(BS-TBS)
2016年5月のゲスト 西内まりやさん

ブランド・ミュージックビデオ「Art of Time」
<http://www.seiko.co.jp/artoftime/>



音楽で 時を彩りたい

セイコーは、「時に音楽を乗せて、人々に豊かな時間を提供したい」という思いを込めて音楽番組「Sound Inn "S"」をはじめとするさまざまな音楽・文化活動を支援しています。音楽は、形を持たない、時間を制する芸術であり、時間を彩ることができます。ブランド・ミュージックビデオ「Art of Time」は、この思いを形にしたものです。イメージソング「時代とハートを動かすセイコー」を背景に、機械式腕時計のパーツで創り上げられた精密な舞台装置が、時計職人が操る繊細な指先の連携によって、輝きを放ち動き出します。





セイコーは、最新の設計・製造技術で、世界一小さいウールビヨン※ムーブメントを開発しました。このムーブメントを使って、デザイン、彫金、漆のすべてに最高の匠が携わり作り上げた時計が「FUGAKU」です。葛飾北斎の「富嶽三十六景」をモチーフにセイコーの誇るデザイナー、名工と世界的漆芸家が力を合わせました。セイコーはこの「FUGAKU」をはじめ、最新技術と伝統工芸の融合で高級時計の世界を探究しています。

※時計の精度を司るてんぶや脱進機等の部品を「キャリッジ」と呼ばれる小さなご枠の中に取りめて回転させることで、時計の姿勢が変わることによる重力の影響を平均化し、精度を安定化する機構です。
世界で最小体積：2016年1月セイコー調べ。

ここにも、あそこにも
セイコーがお知らせする
確かな時がある



成田国際空港第2ターミナル 世界時計 / 2015年4月設置
世界35都市から7都市ずつをスクロール表示。中央の世界地図は毎正時と30分に季節感を表すカラーでデモンストレーションを行います。

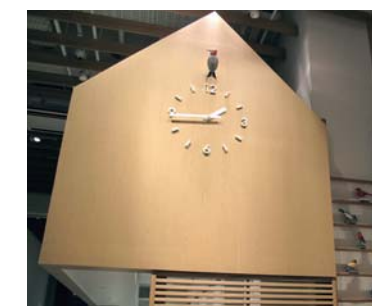
洗練の時計技術と 伝統の技が作り上げる芸術



台北松山空港
親子時計・塔時計 / 2015年12月設置
建物内に28か所の親子時計と建物前に塔時計を設置しました。



鉄鋼ビルディング 世界時計 / 2016年2月設置
東京駅に隣接する鉄鋼ビルディング1階に設置された幅21m高さ3.8mの大型世界時計。



銀座・伊東屋「キツツキ時計」 / 2015年6月設置
毎正時にキツツキが木琴の音で時を知らせます。



彫金師 照井 清
セイコーインスツル(株)
雫石高級時計工房



組立師 平賀 聡
セイコーインスツル(株)
雫石高級時計工房



デザイナー 小杉 修弘
セイコーインスツル(株)
総合デザイン部



設計 森 裕一
セイコーインスツル(株)
時計設計部



漆芸家 田村 一舟氏



銀座 初代時計塔
1894年竣工

街角で、公園で、駅や空港で、セイコーは正確な時刻をお伝えしています。なかには、長年にわたり地元の皆さまに愛され、街のシンボルになっているものや、楽しく夢のある演出で、待ち合わせ場所として親しまれているものもあります。1894年に初代時計塔を銀座に建てて以来、セイコーは、公共の場所で多くの人々に確かな時を知らせる、さまざまな時計を世に送り出しています。

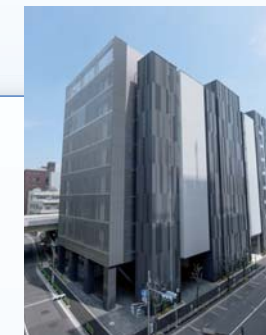
セイコーホールディングスグループの概要

世界各地に製造・販売拠点をおき、各国に広がる代理店ネットワークを通じてグローバルに事業を展開しています。

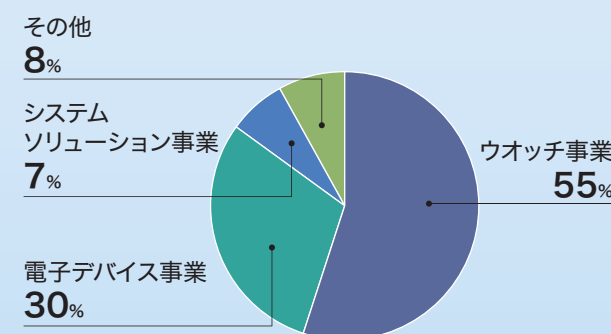


セイコーホールディングス株式会社 企業概要

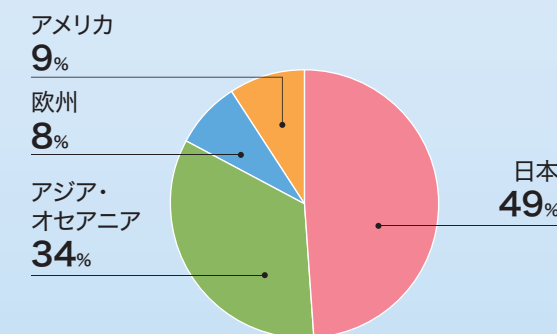
創業	1881年(明治14年)
資本金	100億円
従業員数	128名 (2016年3月31日現在) 13,437名 (2016年3月31日現在連結)
売上高	119億円 (2016年3月期) 2,967億円 (2016年3月期連結)
事業の内容	ウォッチ、電子デバイス、システムソリューション、クロック、高級宝飾・服飾・雑貨、設備時計などを扱う事業会社の連結経営管理
本社所在地	〒104-8110 東京都中央区銀座一丁目26番1号 TEL:03-3563-2111(代表)



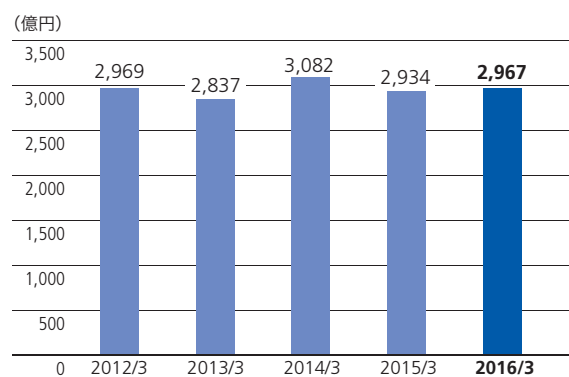
事業別売上高構成比 (2016年3月期) 注) 数値は連結ベースです。



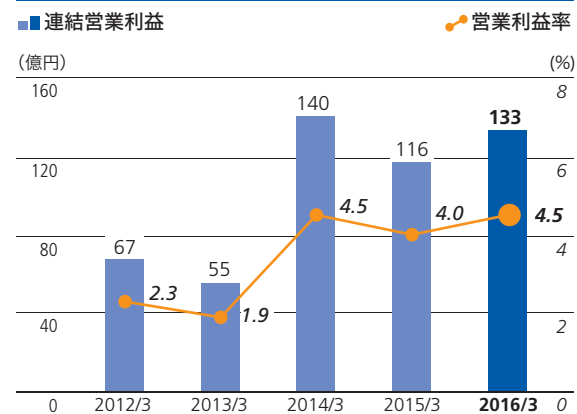
地域別売上高構成比 (2016年3月期) 注) 数値は連結ベースです。



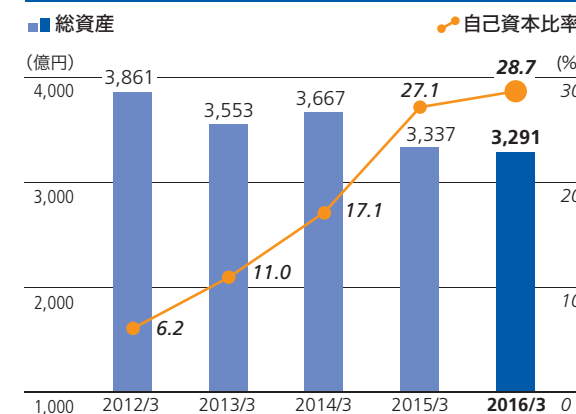
● 連結売上高 **2,967** 億円



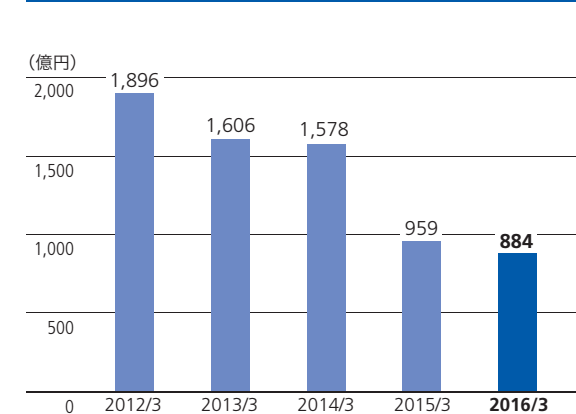
● 営業利益率 **4.5%**



● 自己資本比率 **28.7%**



● ネット有利子負債 **884** 億円



世の中にないものを生み出す セイコーの価値創造

セイコーは、1881年の創業以来、「常に時代の一步先を行く」という精神を貫き、革新的な製品を提供し続け、時代とハートを動かしてきました。さらに、こうした製品をつくるために必要となるものを自ら創り、世の中に送り出してきました。

世界への挑戦で 頂点を極め、新たな時代を拓く 「高級時計」

1940年代末から国内の精度コンクールを席卷したセイコーは、1964年からいよいよ機械式でスイスの天文台コンクールに挑戦します。初年度こそ成績が振るわなかったものの、68年のジュネーブのコンクールで機械式の首位から7位までを独占して、機械式時計の頂点を極めました。

こうした技術進歩とともに1960年に商品化されたのがグランドセイコーです。スイスのクロノメーター規格をしのぐ厳しい精度基準を保ち、独自の規格に合格したもののだけがグランドセイコーとして販売されます。

高級時計におけるセイコーの卓越した技術は、グランドセイコーに留まりません。クレドールは、厚さ2mm以下の極薄ムーブメント、トゥールビヨンや、機械式とクォーツの特長を融合させたスプリングドライブムーブメントを使ったミニッツリピーターなどの複雑時計で新たな時代を拓き、独自の彫金や漆、象嵌など日本の伝統技術で美しく仕上げています。



ミニッツリピーター

ニューシャテル出品ムーブメント
(1967年)

時計製造の精密加工技術 が可能にした 「インクジェットプリントヘッド」

1990年代半ば、セイコーインスツル(株)は急速に普及していた家庭用カラープリンターに着目し、インクジェットプリントヘッドの量産化を検討していました。しかし、ヘッド材料である硬く脆いピエゾセラミックに、幅わずか数十ミクロンの微細なインク室を精度よく、安定的に加工するのは困難を極めました。

その課題解決のカギを握ったのが、長年の時計製造によって培った精密加工技術でした。時計の部品に使われる穴石、サファイアガラス、水晶などの精密加工ノウハウを取り込むことで高精度かつ安定的な加工を実現したのです。また、デジタルウォッチから派生した液晶モジュールの回路実装技術を応用し、高密度実装とコスト低減を可能にしました。

時計とは関係のないインクジェットプリントヘッドですが、その中には、時計から生み出された数々の精密加工技術が活かされています。

インクジェットプリントヘッド
第1号(1999年)

クォーツウォッチの 開発から生まれた 「CMOS-IC」

1960年代末、時計メーカー各社はクォーツウォッチの開発を競っていましたが、消費電力が低く、時計用として高い優位性のあるCMOS-ICについては実用化の目途が立っていませんでした。そうした状況のなか、セイコーインスツル(株)は、1970年アメリカのベンチャー企業と共同でCMOS-ICの第1号を完成させ、これを搭載したクォーツウォッチ「36SQC」を世界で初めて発売しました。

その後、CMOS-ICのさらなる省電力化や高機能化を進め、時計用だけでなく、産業・家庭用機器に用途を広げます。そして今日では、電源ICやセンサ、メモリなどにラインアップを広げ、リチウムイオン二次電池保護ICで世界トップクラスのシェア、車載用EEPROMで国内トップシェアを誇るなど、さまざまな分野で活躍しています。

「36SQC」の完成品とムーブメント
(1970年)

インターネットのない時代に 「独自の無線ネットワーク」 を展開

セイコーと無線通信の関わりは古く、1970年の大阪万博で設置した電波時計には、独自のプロトコルを用いた無線コントロールシステムが使われていました。その後、無線の技術は、時計生産管理やオンラインシステムなど、モノづくりの現場で活用されてきました。また、親子時計に無線を使った無線時計システム「タイムリンクプロ」など、時計に無線技術を応用した製品を世に送り出しています。

1985年には、外食産業の高まりを受け、レストランオーダーリングシステムを発売します。そして1999年、日本初の無線クレジットカード決済システム「CREPiCO(クレピコ)」は、現在のマルチ電子決済システムの先駆けとなりました。

大阪万博で設置した電波時計
(1970年)

第6次中期経営計画

セイコーは、グループスローガン「時代とハートを動かすSEIKO」を踏まえて、10年後の将来に向け長期的に目指す姿を長期ビジョンとして制定し、その実現へのロードマップとして、第6次中期経営計画を策定しました。

守り

第5次中期経営計画
(2013年度—2015年度)

ウォッチ事業を中核とする事業構造への転換を目指し

- ① 事業の拡大、再生、再編
- ② 財務体質の改善

攻めへの組織改革を継続

第6次中期経営計画
(2016年度—2018年度)

ウォッチ事業を中核とする高収益グループを目指し

- ① 収益力の強化と成長への投資
- ② 経営基盤の強化

攻め

第7次中期経営計画
(2019年度—2021年度)

2020年までにグローバル市場のリーディングカンパニーへ

長期ビジョン
(目指す姿)

常に時代をリードする先進性と革新性を備え
お客さまの期待を超える製品と品質・サービスを提供し
世界中のステークホルダーと感動を分かち合える
グローバルな企業グループを目指す

グループスローガン

時代とハートを動かす
SEIKO

セイコーは、創業以来「常に時代の一步先を行く」という経営姿勢を貫き、革新を続けてきました。この創業からの思いと、「お客さまの感性に訴えたい」という新たな思いを込め、企業スローガンを制定しました。時代を牽引してきた技術力と感性で、これからも未来を創造していくというセイコーの熱い意志と躍動感を伝えていきます。

①「収益力の強化と成長への投資」

- ウォッチ事業はグループの中核事業としてさらなる成長へ(収益の拡大)
- 電子デバイス事業はコアビジネスに経営資源を重点配分し、利益を創出(収益力の向上)
- システムソリューション事業は第3の支柱事業として事業基盤を強化(収益力の強化)
- その他の事業は安定した収益体質を継続(収益力の安定)

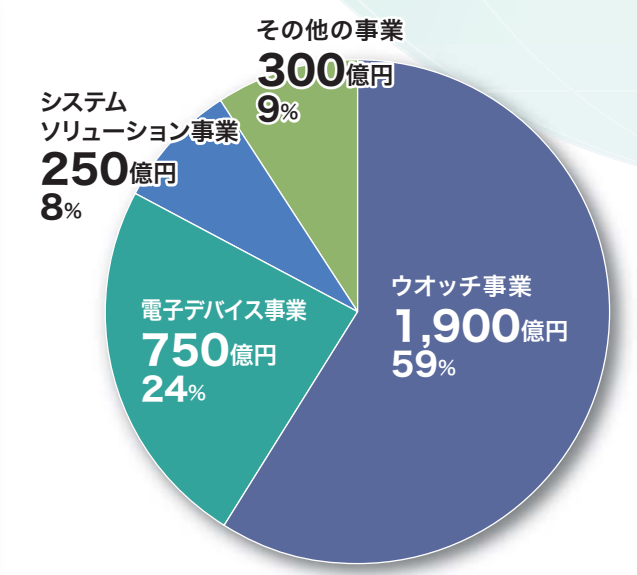
②「経営基盤の強化」

- コーポレートコミュニケーションの強化
- 資本・財務政策の基本方針の継続
- コーポレートガバナンスの強化
- 組織・グループ機能の強化、人事政策の基本方針の継続

連結目標数値(2019年3月期)

売上高	3,100億円
営業利益	170億円
自己資本比率	35%以上
ネット有利子負債	750億円以下

セグメント別売上高目標数値



※円グラフの売上高目標数値・比率は、各事業間の内部売上高調整前の数値に基づいて算出しています。
※電子デバイス事業の2019年3月期は半導体事業合弁会社を除く前提としています。

第6次中期経営計画 セグメント別基本戦略


ウオッチ事業 グループの中核事業としてさらなる成長へ 収益の拡大

ポイント

- セイコーブランドの価値向上
- メカニカルウオッチビジネスを中心とした売上・利益のさらなる拡大

目標数値

項目	2015年度 (実績)	2018年度 (計画)
売上高	1,644億円	1,900億円
営業利益	127億円	170億円



電子デバイス事業 コアビジネスに経営資源を重点配分し、利益を創出 収益力の向上


ポイント

- 半導体事業の再編を通じた事業収益力の強化
- 成長に向けた投資・協業の実施

※電子デバイス事業の2019年3月期は半導体事業合併会社を除く前提としています。

目標数値

項目	2015年度 (実績)	2018年度 (計画)
売上高	949億円	750億円
営業利益	29億円	25億円




システムソリューション事業 第3の支柱事業として事業基盤を強化 収益力の強化

ポイント

- 収益力強化に向け経営資源をシフト、事業の選択と集中
- 新規戦略事業の立ち上げを加速

目標数値

項目	2015年度 (実績)	2018年度 (計画)
売上高	194億円	250億円
営業利益	3億円	15億円




その他の事業 安定した収益体質を継続 収益力の安定

ポイント


- クロック、和光、セイコータイムシステムの各事業は営業黒字の継続を最優先
- 各事業を通じ、セイコーブランドの価値向上に貢献

目標数値

項目	2015年度 (実績)	2018年度 (計画)
売上高	282億円	300億円
営業利益	9億円	10億円



企業ブランディング活動の継続、強化



夢の9秒台に挑戦する社員 山縣亮太選手


音楽番組「Sound Inn "S"」(ゲスト スキマスイッチさん)

SPORTS

スポーツ

MUSIC

音楽



セイコーブティック フランクフルト

PR

ブランド広告

事業紹介

わたしたちの身の周りで活躍する セイコーの製品・サービス

ウオッチをはじめ、電子デバイス、システムソリューションの3事業を軸に、さまざまな事業を展開しています。グループ各社が連携しながら、さらなる飛躍を目指します。



主な事業会社

- ウオッチ p17
 - セイコーウオッチ株式会社
 - セイコーインスツル株式会社
- 電子デバイス p18
 - セイコーインスツル株式会社
 - セイコーNPC株式会社
 - セイコープレジジョン株式会社
- システムソリューション p19
 - セイコーソリューションズ株式会社
- クロック p20
 - セイコークロック株式会社
- 小売 p20
 - 株式会社 和光
- システムクロック/スポーツ機器 p20
 - セイコータイムシステム株式会社
- 眼鏡 p20
 - セイコーオプティカルプロダクツ株式会社

すべての主要部品を自社で製造する「マニファクチュール」として

お客様のニーズにお応えするため、国内外で幅広いブランドマーケティングを行っています。1960年の誕生より腕時計の本質を追求し、進化を続ける最高峰のブランド「グランドセイコー」をはじめ、世界初のGPSソーラーウォッチ「セイコー アストロン」、国産初のダイバーズウォッチの流れをくむ「プロスペックス」、グローバル展開を進める日本製のメカニカルウォッチ「セイコー プレザージュ」など、全世界でさまざまなライフスタイルに合った個性豊かな腕時計を提供しています。

セイコーは部品製造から完成品の組み立て、調整、品質検査まで、すべて自社で一貫して行う世界でも数少ない「マニファクチュール」として、世界のウォッチ市場でリーディングカンパニーを目指します。



「グランドセイコー」

伝統あるセイコースタイルを継承しながらも、腕時計の本質を追求し、進化を続ける最高峰のブランド。レディースモデルのラインアップも強化。



「セイコー プレザージュ」

100年を超える機械式時計の正統。日本が誇る技術に本物の自信が宿る。実用性と機械式の味わいを融合させた世界に広がる日本製のメカニカルウォッチ。



「セイコー アストロン」

2012年に誕生した世界初のGPSソーラーウォッチ。世界のタイムゾーンに対応し、簡単な操作で、地球上のさまざまな場所で正確な時を知ることができる。



セイコーウォッチ株式会社
セイコー第一企画部
山本 かおり

アメリカ向けウォッチの商品企画を担当しています。売上データの分析や現地からの情報をもとに、企画を立案し、デザイン、価格、最終仕様をまとめていきます。年に数回はアメリカに出張し、現地法人のスタッフと直接打ち合わせを行います。商品企画は、非常に多くの人とかかわる仕事です。まずは企画担当であるわたしが商品のことを深く考え、皆が前向きに取り組めるよう心がけています。「日本の良いものを海外に発信したい」という思いで入社しましたので、SEIKOの商品を海外の方に愛用してもらおうよう日々考える仕事は、入社時からの夢であり、やりがいを感じます。

高度化する社会と産業を多彩なテクノロジーでサポートする

クォーツウォッチの開発から生まれた電子部品は、スマートフォンやデジタル家電、自動車、産業用機器などの分野で幅広く活躍しています。なかでもCMOS-ICは、厳しい環境下での安定動作が求められる車載用にも多く採用され、その実力が高く評価されています。

また、世界ナンバーワンのシェアを誇る水晶発振器用ICは、高精度、低消費電力、優れた温度特性を有し、AV機器・電子機器や携帯基地局など通信インフラの発振器において、安定した基準信号を生成する要の役割を果たしています。光・温度・磁気・動き・傾きなどの繊細で軽微な変化を的確に検知する各種センサは、カーナビや紙幣認証などの分野で広く用いられ、豊かで快適な生活をサポートしています。



プリンタ

インクジェット
プリントヘッド



エスアイアイ・プリンテック株式会社
生産技術部
間山 大輔

業務用インクジェットプリンタのインクジェットプリントヘッドを製造しています。わたしの担当はインクを吐出させるポンプの役割となるアクチュエータです。日々「現場」に足を運び、「現物」を確認し、スピーディーに「現実」ととらえるよう心がけています。また、人による作業も多いため、製造現場を中心にさまざまな人とのコミュニケーションを密にとり、コストを抑えながら品質の良い製品を作っていくことに大きなやりがいを感じています。今一番の課題は新製品の歩留向上です。工程確認と分析を地道に行い、一つずつ解決していくことで、目標達成を目指していきます。



メカトロ

内面研削盤



電子部品

マイクロ電池/チップキャパシタ

CMOS-IC

各種センサ

水晶振動子

ICTプロフェッショナル集団としてソリューションを提供

激動するネットワーク社会のなか、セイコーの「確かな品質」を信条に、お客さまにとって最適な「つなぐ」ソリューションを提供しています。その基盤となるのはネットワーク、無線技術、電子決済サービス、システムインテグレーションなどの技術です。これからもターゲットとする市場に対して、ICTプロフェッショナル集団のビジネスパートナーとして、お客さまの期待を上回る一歩先のソリューションをダイナミックに創出してまいります。

電力に留まらない総合管理を実現する
エネルギー監視・制御ソリューション
GreenTALK
エネルギー監視・制御ソリューション

ROS³ CAPS
Card Automatic Payment System

L-CRIP

決済ビジネス
各種ソフトウェア

SEIKO
Cyber Time
2006/06/10
10:08:59

いつでも
どこでも

タイムスタンプ
サービス

Thinc-CORE
シンクライアント
決済ソリューション

金融業界



「ミスター省エネ」
温・湿・照度ノード



高速データ通信ルータ
「SkyBridge」



データセンター

ロードバランサ
「Netwiser」



グランドマスタークロック
「TimeServer Pro.」



コンソールサーバ「SmartCS」



車載関連

タクシー向け
決済端末



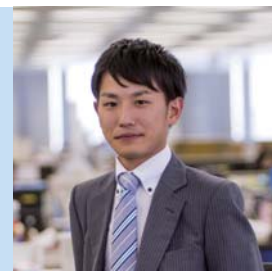
oishino
レストラン
オーダーリング
システム



店舗／飲食店

CREPiCO
マルチ電子マネー
決済サービス

「MONSTERA」



セイコーソリューションズ株式会社
ネットワークソリューション統括部
金子 元気

ロードバランサの開発を行っています。ロードバランサとは、サーバに対する外部からのアクセスを一元的に管理し、複数のサーバに要求を分散する負荷分散装置のことです。この仕事の大きなやりがいは、モノづくりの上流から下流まですべてに関われることです。最初はただの鉄の箱だったものが、わたしたちが開発したソフトウェアの力で製品になっていく姿を見ると、赤ちゃんを育てているような感覚になります。ひとつずつ機能がプラスされ完成された製品に育っていくプロセス自体が、次のステップへの大きなモチベーションになります。

クロック

掛時計の製造開始より120余年、企画・製造からアフターサービスまでを行うクロックトータルカンパニーとして、高い品質とモノづくりの技、先進技術の融合により、幅広い商品ラインアップを誇ります。

小売

銀座を代表する高級専門店・和光では、時計をはじめ、宝飾品、紳士・婦人用品、室内装飾品、食品など、独自開発した、あるいは国内外から厳選した、高品質の商品を幅広く取り揃え、質の高いサービスを提供しています。

また、銀座を見守る和光本館は1932年の竣工以来、銀座のシンボルとして多くの人々に愛されてきました。長い歴史と伝統のなかで培ってきた上質へのこだわりとおもてなしの精神で、これからもお客さまとの信頼関係を大切にしていきます。

システムクロック／スポーツ機器

学校・公園・駅などで使われる設備時計、街を彩るからくり時計、放送局用の専門的な時計から、スポーツ計時計測機器、大型表示盤や野球場スコアボードなど、システムクロックやスポーツ機器の企画・開発から製造・販売、アフターサービスにいたるまで総合的に行っています。

また、国際大会などで培われた豊富な経験と高度な技術力をベースに、各種スポーツ大会の計時支援活動も積極的に展開しています。

眼鏡

90年以上の歴史を誇る眼鏡事業。レンズとフレーム双方を扱う世界に数少ない会社として、最高、最適なパフォーマンスを実現するメガネ「EYEWEAR THAT PERFORMS」を提供していきます。

※2016年4月、セイコーオプティカルプロダクツ(株)は、国内向け事業を切り離し、子会社であるベストビジョン(株)と事業統合、新たな販売会社セイコーアイウェア(株)を設立しました。また、セイコーオプティカルプロダクツ(株)は世界のセイコー眼鏡ビジネスを統括しています。



セイコークロック株式会社
第一営業部
小林 猛男

家電量販店の営業を担当しています。クロックを売るだけでなく、売り場のメンテナンスから商品展開までの提案、取付物を活用した売り場全体の提案、適正在庫数や在庫金額の提案など、業務は多岐にわたります。SEIKO商品の良さをアピールするため、お客さまの歩先に行く提案を行い、お客さまの要望に誠心誠意向き合うことを心がけています。こうした仕事を通じて、自分の考えを売り場内で実現でき、さまざまな人から信頼を得られることにやりがいを感じます。お客さまからすべてを任せて頂ける関係になったときは、嬉しかったですね。



カラー液晶
デジタルクロック
セイコーシリーズC3



和光本館



子ども用ポール時計



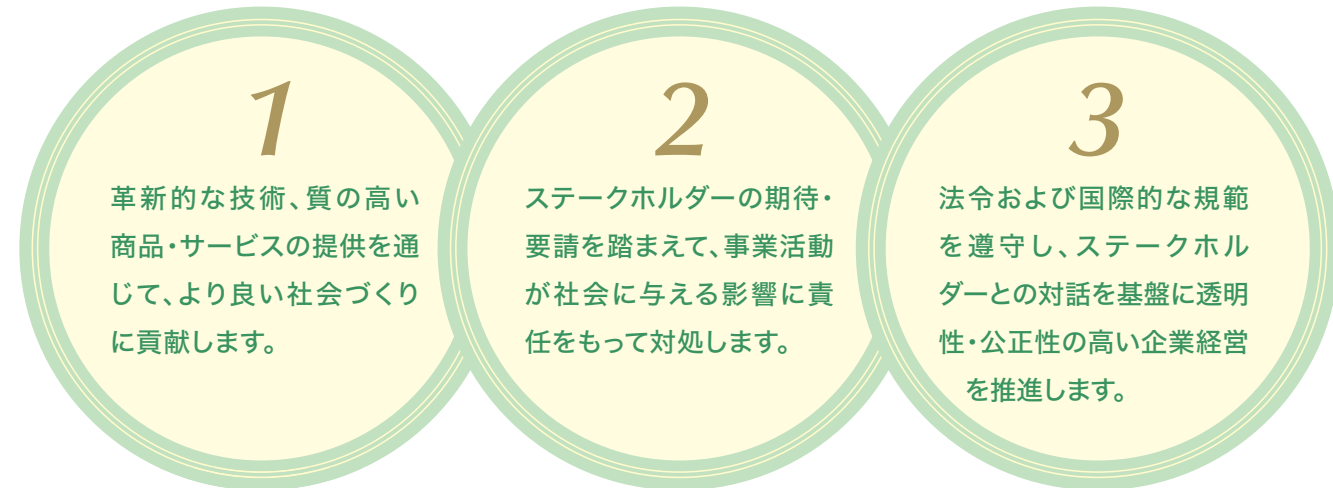
幅広いラインアップが揃う
セイコーの眼鏡商品

セイコーホールディングスグループのCSR

セイコーホールディングスグループのCSRは、基本理念である「社会に信頼される会社であること」の実践を通じて、

持続可能な社会の実現に貢献することと考えています。

わたしたちは、この実現に向けて、以下の取り組みを推進していきます。



コーポレートガバナンス

セイコーホールディングス(株)は、「社会に信頼される会社であること」を基本理念におき、法令の遵守、経営の透明性、公正性の確保、社会倫理の尊重を重要な経営課題と位置づけ、その実現に向けてコーポレートガバナンス体制の強化推進に取り組み、グループの持続的な成長と企業価値向上を図っていきます。

コーポレートガバナンス体制の強化

2015年6月に適用開始となったコーポレートガバナンス・コードへの対応を軸に、当社のコーポレートガバナンス体制の強化に取り組みとともに、その具体的な指針として、新たに「コーポレートガバナンスに関する基本方針」を制定しました。

詳細は「コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方」をご覧ください。

[URL http://www.seiko.co.jp/ir/management/governance.html](http://www.seiko.co.jp/ir/management/governance.html)

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス・コードへの対応

2015年12月にコーポレート・ガバナンス報告書において、コーポレートガバナンス・コードの各原則に基づく開示、および、未実施の原則については、実施しない理由の開示を行いました。その後、コーポレートガバナンス体制の整備に取り組み、2016年8月にすべての原則が実施済みとなりました。その主な内容は次の通りです。

1. コーポレートガバナンス委員会の設置

2016年4月、役員候補者の指名および役員報酬に係る決定プロセスの客観性と透明性を確保するため、取締役会の諮問機関として、社外役員が構成員の過半数を占めるコーポレートガバナンス委員会を設置しました。

2016年6月開催の定時株主総会で決議された役員候補者の指名および取締役報酬制度の内容は、本委員会の審議を経て上程されました。

2. 取締役に対する業績連動報酬制度の導入

業績および株式価値との連動性をより明確にし、当社の持続的な成長と企業価値の向上に貢献する意識を高めるため、新たに業務執行取締役を対象とした、業績連動賞与制度および業績連動型株式報酬制度を導入しました。

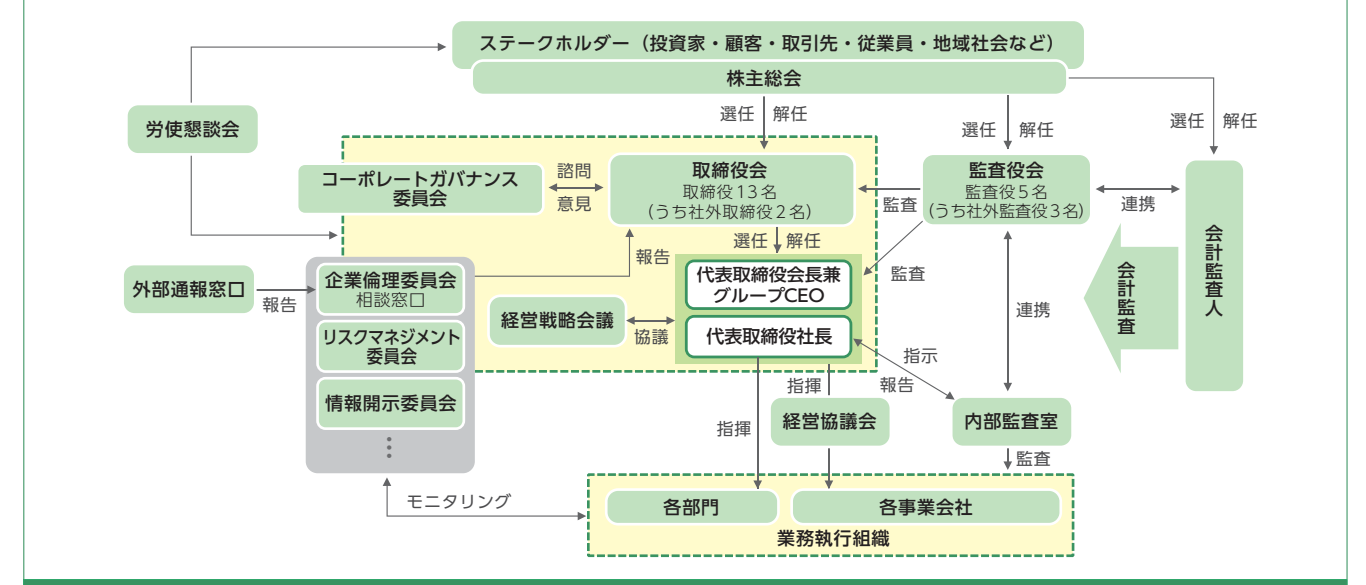
3. 取締役会の実効性についての分析・評価の実施

コーポレートガバナンス体制の強化推進の一環として、取締役会の実効性に関する評価を実施し、結果の概要を開示しました。

詳細は「取締役会の実効性に関する評価結果の概要について」をご覧ください。

[URL http://www.seiko.co.jp/ir/management/pdf/governance_01.pdf](http://www.seiko.co.jp/ir/management/pdf/governance_01.pdf)

コーポレートガバナンスの仕組み



BCP(事業継続計画)を視野に入れた取り組み

セイコーホールディングス(株)は、BCP(事業継続計画)の観点から大規模災害発生への対応に努めています。

セイコーホールディングス(株)の新社屋ビルは、災害時には、2系統ある電源がともに停止しても、ビルの非常用自家発電で72時間の電源供給が可能です。新耐震基準の約1.25倍の耐震性能を持ち、被災状況を正確に把握できるヘルスマonitoringシステムも備えています。また、1階のピロティ部分は災害時の帰宅困難者一時待機場所として、

一般開放に指定されています。

ハード面での充実に加え、大規模災害の発生を想定した、災害対策本部の対応をシミュレーションする訓練も、想定状況を変えながら毎年継続して行っています。



セイコーホールディングス(株) 災害対策本部訓練

CSR編集方針

● 読みやすくするために文章を簡潔にし、ビジュアルも大きくして内容を把握しやすくしました。

[報告対象範囲と期間]

本レポートは、セイコーホールディングス(株)および各事業会社*における2015年度(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の活動を中心に報告しています。
*セイコーウオッチ(株)、セイコーインスツル(株)、セイコープレジジョン(株)、セイコーNPC(株)、セイコーソリューションズ(株)、セイコークロック(株)、(株)和光、セイコータイムシステム(株)の各社です。

[参照ガイドライン]

GRI「サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン第4版(G4)」、環境省「環境報告ガイドライン2012年版」、「環境会計ガイドライン2005年版」、日本経団連「企業行動憲章」

[ウェブサイトとの連携]

本レポートではセイコーホールディングス(株)および各事業会社のCSR活動のエッセンスをお伝えし、ウェブサイトにより詳細な情報を掲載しています。内容は随時改訂されますので、最新情報は下記ウェブサイトをご覧ください。

[URL http://www.seiko.co.jp/csr/](http://www.seiko.co.jp/csr/)

社会との共生を目指して

セイコーホールディングスグループでは、地域・社会の繁栄、地域・社会との共存を目的に、さまざまな活動に取り組んでいます。

スポーツ協賛活動

セイコーホールディングスグループ各社は、スポーツを通じた子どもや若者の育成に貢献しています。

●スポーツひのまるキッズ柔道親子合宿

この柔道親子合宿は、被災地復興を支援し、親子の絆を強める活動として、毎年、東北地域の親子を対象に開催されています。2016年は8月に盛岡市で開催され、特別協賛したセイコーは、協力いただいた盛岡中央高校に柔道タイマーを贈呈し、合宿中のイベント賞品として、タイマークロックとデジタルウォッチを提供しました。



スポーツひのまるキッズ柔道親子合宿2016

●水泳の日

社会貢献活動の一環として、水に親しむきっかけづくりを目的に制定された「水泳の日」。セイコーは東京辰巳国際水泳場で開催されたイベントに協賛し、水泳競技の結果をウェブサイトにアップするとともに、銀座の和光時計塔やセイコーミュージアムなどを訪問するバスツアーに被災地である東北3県の子もたちとコーチを招待しました。



「水泳の日」イベントバスツアー（和光時計塔）

音楽を通じた取り組み

セイコーホールディングスグループは、音楽を通じた社会支援活動に取り組み、人々との絆を深めています。

●“わ”で奏でる東日本応援コンサート

2011年の震災直後から毎年、被災地での復興支援コンサートを継続して行ってきました。さらに被災地の皆さまと支援者が心をつないで絆を深める場を提供したいと考え、2013年からは「わ」で奏でる東日本応援コンサート」として東北3県と東京で継続して開催。2016年9月の開催で通算23回を数え、音楽家の前田憲男さんを中心に被災地へ思いを寄せるアーティストの方々に出演いただいています。



“わ”で奏でる東日本応援コンサート2016 in 久慈

●若い世代の演奏家を応援

ポピュラステージ吹奏楽コンクールやポップス&ジャズバンドグランプリ大会への協賛を通じて、音楽を志す子どもたちや若い世代の演奏家を応援しています。



全日本ポップス&ジャズバンド グランプリ大会

地域に密着した社会貢献活動

グループ各社の海外現地法人と代理店は、それぞれの地域に密着したチャリティーやボランティア活動に参加することで、地域活性化への貢献に努めています。

●障がい者慈善事業を支援

イギリスでは、障がいを持つ子どもと大人のための慈善事業 Thames Valley Adventure Playground に1,000ポンドを寄付するとともに、Melody in Motion クロックを贈呈しました。寄付金は施設内の遊具などに役立てられています。



寄付金の贈呈

寄付金で購入された施設内の遊具

●元受刑者の社会復帰をサポートするスポーツイベント

シンガポールのチャンギ刑務所内で毎年開催される「Yellow Ribbon Prison Run」に2011年からオフィシャルタイマーとして協賛しています。元受刑者の社会復帰プログラムのサポートを目的としたこのスポーツイベントには、賛同する一般ランナー約4,000人が参加しました。



Yellow Ribbon Prison Run 2015

「学び」の機会と場を提供する活動

セイコーホールディングスグループは、時計に関する知識や異文化交流において、「学び」の機会と場を提供する活動に取り組み、次世代育成に貢献しています。

●おしごと年鑑2016

小学校高学年を対象とした、将来の職業を考える授業で使えるキャリア教育教材「おしごと年鑑2016」に協賛し、時計の仕組みと歴史をわかりやすく紹介しました。日本全国の小学校20,350校と現役教師5,000名に寄贈されています。



おしごと年鑑2016(朝日新聞社刊)

●日本語弁論大会

ロシアやCIS諸国で日本語を履修する学生が参加する「モスクワ国際学生日本語弁論大会」に協賛しました。大会を目標に日本語技能を向上させ、優秀な弁論を聞いて学習意欲を高めるとともに、各地の学習者と交流する貴重な機会となっています。



第28回モスクワ国際学生日本語弁論大会

ダイバーシティ

社員一人ひとりが安心して働ける職場環境を実現することで、社会的な責任を果たすと同時に、企業業績の持続的な向上を目指します。

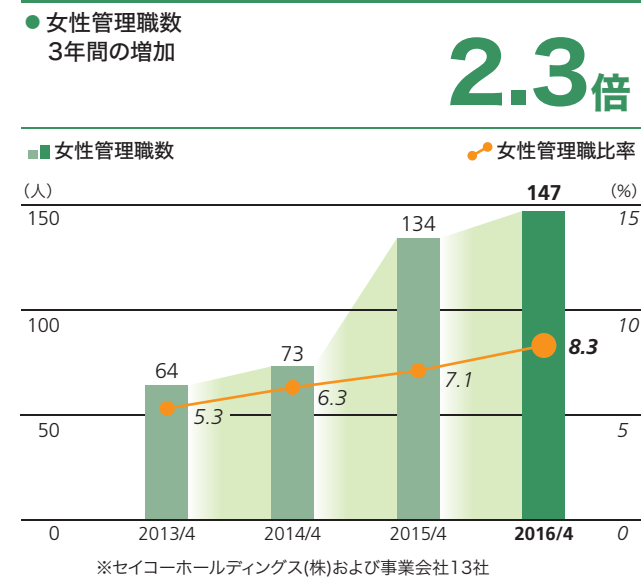
女性活躍推進

第6次中期経営計画において、多様な人財の育成、女性活躍推進へのさらなる取り組みを掲げ、2019年3月31日までにグループ女性管理職比率12%を目標とする行動計画を策定しました。

2014年度からグループ横断的な組織として、各社の経営層から構成される「女性活躍推進委員会」と、各社の人事担当と女性社員を中心として構成される「女性活躍推進プロジェクト」が連動しながら、各種講演会・研修の開催や、グループ向け専用サイト等からの情報発信など、女性活躍に対するさらなる意識改革・広報活動を推進しています。



イントラネットで、女性活躍推進の目的や取り組み状況などの情報を発信



グローバル人財育成／コア人財育成

セイコーホールディングスグループは、若手社員を中心としたグローバル人財の育成を進めています。

2015年度の新たな取り組みでは、新入社員フォローアップ研修の一環として、英語でのコミュニケーションに必要な「マインド」を身に付けるグローバルマインドセット研修(短期集中型英会話研修)を行いました。

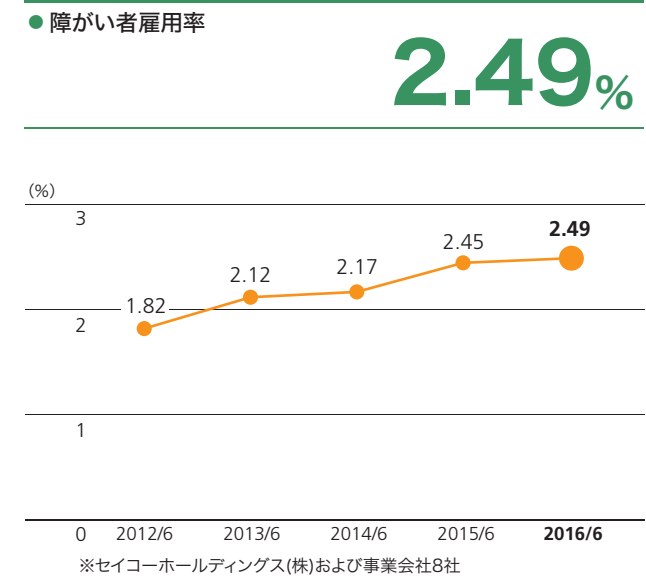
また、国内でグローバルビジネスの基礎知識を学んだ後、3か月の海外研修を通じて実践的なスキルを習得する「Global Training Program」、外部ビジネススクールへの派遣も継続して行っています。



グローバルマインドセット研修

障がい者雇用

セイコーホールディングスグループは、障がい者雇用を積極的に進めており、グループ全体で、法定雇用率を上回る障がい者の方々を雇用しています。



環境保全の課題解決に向けて

セイコーホールディングスグループは、地球環境を守ることが人類共通の最重要課題であることを認識し、良き企業市民として環境の保全に配慮して行動しています。

環境推進体制

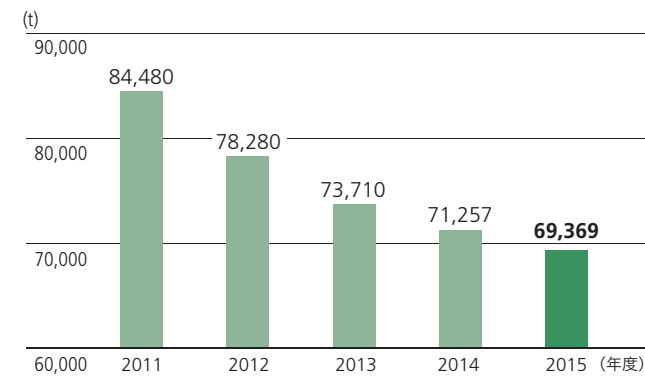
グループ各社の環境担当者を一堂に集めた「環境連絡会」、製造各社が環境関連の最新情報を共有する「製造分科会」を定期的に開催しています。また、「環境セミナー」の開催、グループイントラネットの「環境トピックス」で、社員への啓発に努めています。

地球温暖化防止／省エネルギーへの取り組み

セイコーホールディングスグループは、環境会計を導入し、商品開発・製造・販売などさまざまなプロセスで、地球温暖化ガスの低減に取り組んでいます。また、エアコン温度管理、LED照明の導入、複合機等の台数削減や機種選定見直しなどで、消費電力の削減にも努めています。

●CO₂排出量

69,369t



環境に配慮した商品

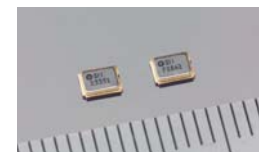
セイコーホールディングスグループ各社では、環境に配慮した数多くの商品を市場に送り出しています。

セイコーウォッチ(株)が発売した世界初のGPSソーラーウォッチ「セイコー アストロン」は、独自技術によりGPSのシグナル受信時の消費電流を低減化することで、太陽光のみで駆動する環境に優しいウォッチです。

セイコーインスツル(株)では、2001年に「SIIグリーン商品ラベル制度」を、2006年からは「SIIハイグレードグリーン商品ラベル制度」を導入し、環境に配慮した製品、環境に貢献できる製品を数多く創出してきました。2015年度のグリーン商品売上比率は97.8%にも及びます。



GPSソーラーウォッチ
セイコー アストロン



SIIハイグレード商品
チップキャパシタ

生物多様性保全

セイコーインスツル(株)では、「SII生物多様性土地利用ガイドライン」を作成し、SIIグループ全体で生物多様性の保全に努めています。

●千葉県の実験種「ヒメコマツ」を植栽

セイコーインスツル(株)では、千葉県が展開する「ヒメコマツ系統保存サポーター」に登録し、絶滅危惧種である「ヒメコマツ」の植栽を行い、遺伝系統の保存に協力しています。



セイコーインスツル(株)幕張事業所で育てているヒメコマツの苗木

●事業所内で「自然観察会」を開催

盛岡セイコー工業(株)では、生物多様性の観点からみた土地利用状況の評価と生き物調査を実施しています。2015年度は、敷地内で「自然観察会」を開催し、樹林地に生息するさまざまな生き物の存在と習性や生態について学びました。



自然観察会